

# 保育士等自己評価チェックリスト

2023年3月実施 マリービクシー保育園

対象：常勤保育士（3名）非常勤・パート保育士（6名）看護師（1名）保育補助（2名）調理員（2名） ※該当項目のみ回答

項目	A (かなりできている) B (ほぼできている) C (あまりできていない) D (ほとんどできていない)	A	B	C	D
総則	入園している子どもの最善の利益を考慮して保育にあたっていますか	2	8	1	0
	「全体的な保育の計画」に基づき、保育目標を定め保育を行っていますか	1	7	3	0
	子ども一人一人の人格を尊重し、自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性と愛情をもって保育にあたっていますか	3	7	1	0
子どもの発達	子どもの発達は豊かな心情意欲態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	5	6	1	0
	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解し、子どもの発達の連続性に配慮して保育をしていますか	1	6	5	0
保育の内容	保育の内容は目標を具体化したねらいと、具体化した内容から構成されていることを理解していますか	4	4	3	0
	保育所保育は「養護」と「教育」が一体となって展開されることに留意していますか	1	7	3	0
養護に関するねらいと内容	朝の健康観察を丁寧にしたり、一人一人の平常の健康状態を的確に把握していますか	2	6	2	0
	子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全安心な保育環境に心がけていますか	4	7	1	0
	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか	6	6	1	0
	保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育をしていますか	4	7	1	0
	「早くしなさい」などせかす言葉を不必要に使わないで、一人一人の発達過程に合わせた対応を心がけていますか	2	7	2	0
	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか	2	7	3	0
教育に関するねらいと内容	子どもが活動しやすいように、その都度、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか	4	5	1	0
	園庭（裏庭）や散歩などで戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	0	6	2	0
	保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか	0	7	3	0
	食事の前や排せつ後の手洗い等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	5	5	1	0
	子どもが見通しをもって意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか	0	5	6	0
	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしていますか	1	5	4	0
	つまづきや葛藤、けんかなどを子どもの発達に欠かせないものにとらえ、対処していますか	1	6	4	0
	困っている友だちのことを心配するなど思いやりを持てるよう援助していますか	2	7	2	0
	保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言葉が子どもにとってモデルになっていることを常に意識していますか	3	8	1	0
	子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを發展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関わりをしていますか	2	4	5	0
	子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気づけるよう援助をしていますか	4	4	3	0
	身近な自然に触れ「どうして」という疑問に対して美しさや不思議さに気づけるよう配慮し「なぜ？」という疑問に対して一緒に考えたり調べたりしていますか	0	5	5	0
	信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に合った言葉がけをしていますか	0	3	5	1
あなたは子どもがわからないことを訊ねたり楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか	2	8	1	0	

教育に関する ねらいと内容	「ありがとう」「ごめんなさい」など生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか	5	6	1	0
	歌ったり踊ったりして音や動きの楽しさや、様々な色・形・手触りに気づき、心地よさを感じる機械を作っていますか	1	4	3	0
	糊・はさみなどいろいろな道具の使い方を年齢に応じて一人一人に丁寧に教えたり見守ったりしていますか	1	5	5	0
	一人一人の育ちやその日の様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか	3	6	2	0
保育の計画 及び評価	園の保育理念・保育目標・全体的な保育の計画などを理解していますか	3	8	0	0
	指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明することができますか	2	3	5	0
	指導計画は必ず「全体的な保育の計画」に基づいて作成していますか	1	3	1	0
	行事はその保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れていますか	2	2	1	0
	指導計画（年間・月・週）が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省評価及び改善点を見直していますか	0	3	1	0
	あなたの指導計画の反省評価及び改善点は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか	0	3	1	0
	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有することができますか	1	6	1	0
健康と安全	保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態などを踏まえ、施設内外の安全点検や全職員で安全対策の体制を図っていますか	1	9	1	0
	子どもが危険な場所や危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか	3	7	2	0
	火災や地震などの災害の発生に備え、緊急時対応の具体的内容及び手順や役割を把握していますか	3	8	0	0
	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるような雰囲気づくりや手伝いなど食事に興味を持てる工夫をしていますか	2	7	3	0
	子どもたちに自然の恵みとしての食材や、調理する人への感謝の気持ちが育つよう心がけ、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶を大切にしていますか	1	6	3	0
	食物アレルギーの子どもに対し、家庭と連携しながら除去食などの配慮を行い、誤食の予防対策を取っていますか	2	6	0	1
	食育の計画や個々の課題に基づいて、一人一人に応じた配慮や取り組みを実践していますか	1	6	2	0
保護者に 対する支援	送迎の際や保護者と会った時には挨拶をしたり丁寧に言葉を交わすようにしていますか	2	5	1	0
	一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	0	2	2	1
	家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか	1	5	2	0
	保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるよう心がけていますか	0	6	1	1
	あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を聞き受け止めようと努力をしていますか	0	3	2	0
	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか	3	2	1	0
職員の 資質向上	職員会議などでは、こどもの最善の利益を尊重して責任を持った発言をしていますか	2	7	2	1
	園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか	3	3	4	2
	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか	1	10	1	0
	自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に説明・相談していますか	4	5	2	0
	一人一人の子どもの活動や姿をしっかり記録に留めることができますか	0	10	2	0

保育士の 責務	毎日笑顔で子どもや保護者・職員に接し自ら挨拶するよう心がけていますか	5	7	1	0
	子どもとよく遊び自分自身も一緒に楽しんでいますか	5	5	1	0
	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず保育に取り入れていますか	0	3	6	0
	子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか	1	5	4	0
	子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や副園長・主任に報告連絡相談していますか	4	7	2	0
	子どもの名前は呼び捨てやニックネームではなく、「〇〇ちゃん」「〇〇くん」などと丁寧な呼び方をしていますか	3	8	1	0
	子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知り得た事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか	7	6	0	0
	あなたは自分の役割に責任を持ち自ら主体的に動き、愛情や喜び、意欲をもって保育をしていますか	2	7	2	0
	こどもの発達や成長に関する記録や帳簿類は適切に記載し、保管されていますか	4	5	1	0
今期を 振り返って	<p>今年度は年度途中から新しい職員も迎え14人の職員でこどもたちの保育を行ってきた。それぞれ今までの経験や保育観、立場や勤務の時間帯などが違う中でも、一人ひとりが目の前のこどもたちと真摯に向き合い、愛情をもって丁寧にに関わり、こどもたちのため園のために一緒に考え、学び、惜しみない努力をしてくれたことに感謝したい。それぞれの職員がこの自己評価を通し、また新たに自身の課題を見つけ、前向きに取り組んでいってくれることに期待する。こどもたちの大切な命を預かるというこの仕事の責任の重さとともに、こどもたち1人1人の様々なニーズに応えるための保育の多様化など日々の業務の忙しさの中、職員同士の信頼関係やコミュニケーションなど職場環境の整備と保育者自身の健康管理が何より不可欠であるとする。これからもよりよい保育、安心安全な保育を提供できるよう、こどもたち、保護者の方々、地域の方々との出会いを大切に日々感謝をしながら歩んでいきたい。</p>				